

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 (初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載）)

【第9回】

放課後子ども教室の取組

～ 地域の子どもは地域で育てる

宮崎県宮崎市立^{あおき}櫛小学校長 今門 幸藏

櫛小学校は、宮崎市のほぼ中央に位置する伝統のある学校です。卒業生も1万5千名を超えており、地域にも大勢の卒業生が住んでいらっしゃいます。そして櫛小学校を愛してくださっています。

本校の「放課後子ども教室」は、平成16年度に宮崎市の「子どもの居場所づくり推進事業」として始まりました。PTAの役員を長年努め、また様々な社会活動に熱心に取り組んでくださっていた地域の方がコーディネーターを引き受けてくださいました。そして、櫛地区青少年育成協議会、子供連絡協議会、小学校PTA、中学校PTAの代表等9人の方々の協力を得て、コーディネーターを含めた10人体制で活動を始めました。

現在、櫛小学校の運動場や体育館、地域の公民館等でスポーツや夏休みの工作教室、団子作り、グランドゴルフなど多種にわたる活動を行っています。平成19年度は、平日48回、休日に5回、計53回実施し延べ1,132名の小学生が参加しました。かかわっていただいた安全管理指導員、学習アドバイザー、ボランティアの方々は延べ321名に上ります。

活動をいくつか紹介します。子どもたちが楽しみにしている活動に団子作りがあります。例年100名以上が参加しており、調理室の関係で2回に分けて活動していますが、子どもたちは歓声を上げながら実に楽しそうに作っています。そして笑顔いっぱい試食をしています。

グランドゴルフやしめ縄作りは、三世代交流を兼ねています。学校周辺の高齢者クラブの方々に指導していただいています。参加する子どもたちやボランティアの方々も年々増えてきており、コーディネーターの「地域の子どもは地域で育てる」「心豊かでたくましい子どもを育てていきたい」という強い思いは地域の方々の間で確実に広がってきています。

子どもたちも、「違う学年の友達ができた。」「地域の方と知り合いになった。」「今までしたことのない経験ができた。」と喜んでいきます。わたしも、楽しそうに活動する子どもたちの様子を見て嬉しくなってきます。同時に、本校の子どもたちにこのような体験を実施してくださるコーディネーターやボランティアの方々に頭の下がる思いでいっぱいです。かかわってくださっている方々の中には卒業生も多くいらっしゃいます。「放課後子ども教室」を通して先輩が後輩をお世話してくださる、そうした活動を通して、櫛小の子どもたちも、必ず、地域を愛し地域を支える大人になってくれると信じています。これからも、「放課後子ども教室」の活動を支え活性化させていきたいと思っています。